

トドワタムシ

春にトドマツやモミの新芽や若枝につくアブラムシ（幼虫と成虫）。最大長約2mm。緑色で体から白い綿を吹く。
苗畑や庭などでしばしば多発する。葉がそり曲がったり，すす病を併発するので木が汚れる。実害は少ないといわれている。



1. 幼虫. 2000/6/5. 美唄市, 庭のトドマツ.

- 【学名】 *Mindarus japonicus*
- 【分類】 カメムシ目（Hemiptera）, アブラムシ科（Aphididae）
- 【分布】 北海道, 本州.

【生態】

宿主：モミ属（モミ，トドマツなど）。
卵越冬。年3世代経過する。早春に卵が孵化し，新芽に寄生し吸汁加害する。6月末頃，3世代目の雌成虫が産卵する。卵期間は夏から翌早春までと非常に長い。

発育ステージ	～3月	4	5	6	7	8	9	10	11～
卵（越冬）	+++	+++++	+++	+++	+++	+++
幼虫・成虫（加害）			..■■■	■■■■	■..				

【被害と防除】

苗畑や庭などでしばしば多発する。煤病を併発し，新葉がねじれたり湾曲する。外見のわりに実害は少ないといわれており，防除は普通必要とされない。

【文献】

1956. 井上元則. 北海道・東北地方の針葉樹に寄生するアブラムシ. 林業試験場北海道支場業務報告, 特別報告, 5: 204-238.
(形態や生態の概説, 針葉樹の他のアブラムシについても解説)
1983. 森津孫四郎. 日本原色アブラムシ図鑑. 全国農村教育協会, 東京.
1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病害虫獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真).
1994. 小林富士雄, 竹谷昭彦, 編. 森林昆虫, 総論・各論. 養賢堂, 東京. (形態, 生態, 被害, 防除の解説)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

トドワタムシ [abura/todowata/
kaisetu.htm](http://abura/todowata/kaisetu.htm)

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/8.

[musi.JPG](#)

「写真1」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2000.